

科目名	美術 Fine Arts			担当教員	永井 崇幸		
学年	2	学期	通年	履修条件	必履修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	07G02 20140		
学習目標	構想画、デザイン画、あらゆる表現方法による絵画表現を通して、個々の創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。イメージを膨らませて、自主的に創造する価値と喜びを感じさせる。						
進め方	絵画表現を通して、独自のイメージを膨らませ、自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格基準			
	1. 構想画 - 未来都市を描く（8） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿ったイメージは、どのようにして引き出すことができるかを考える。</li> <li>・CGの発達により、意識のないままに仮想現実（バーチャルリアリティ）があふれていることを認識する。それらのイメージを再構成して、独自のイメージとして表現することができる。</li> <li>・幾つかの制作条件のもとで、未来の都市空間を豊かなイメージを膨らませて表現することができる。</li> <li>・直線・曲線を使い分けて建造物と都市空間を表現することができる。</li> </ul>			
	2. デザインと描写 - 定められた空間の構成（10） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でデザインする外形を決定する。</li> <li>・指定された条件下で定型の形を生かして表現することができる。</li> <li>・デザイン的な色面構成の中に精密な描写をすることができる。</li> <li>・制作に必要な資料を準備し、テーマに沿った表現ができる。</li> </ul>			
	3. 自由制作（12） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の制作に必要な参考の資料を準備する。</li> <li>・あらゆる絵画表現手段を用いて作品制作する。</li> <li>・自分の定めたテーマを感性豊かに表現することができる。</li> </ul>			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%）、制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
学習・教育目標との関係	自らのイメージを豊かに膨らますことで、型に入らない新鮮な発想とそれを表現する手段を養うことは、未来を担う技術者の育成に重要である。						
関連科目							
教材	教科書：永井一正 他著「高校美術2」 日本文教出版社						
備考	自主的に美術館・ギャラリーなど鑑賞した際のレポートは、随時受け付けます。						